



常務取締役CFO 男澤 一郎 氏



## ～メーカー事業と流通(VONA)事業で独自のビジネスモデルを構築～

### メーカー事業と流通事業の 2つの事業を展開

- ・メーカー事業(2015年度売上高構成比60.9%)は、自動車やエレクトロニクス向けに自動機の標準部品を主に扱っているFA事業(同31.8%)と、自動車や電子・電機機器などの金型部品を主に扱っている金型事業(同29.1%)からなっています。
  - ・流通事業(VONA\*事業:同39.1%)は、生産設備関連部品、製造副資材およびMRO\*(消耗品)を販売しています。
- \*VONA: Variation & One-stop by New Alliance,  
MRO: Maintenance Repair & Operation
- ・取扱商品数は、メーカー事業の規格品300万点に、MRO用品と他メーカーの規格品1,300万点を加えて、1,600万点に到達しています。過去1年間で商品数が400万点も増加し、生産間接材データベースとして業界ナンバーワンとなっています。

### ミスミQCTモデルの強み

- **特注品を標準生産**
  - ・QCTは、「Quality」、「Cost」、「Time」の略。
  - ・メーカー事業の強みとして、「特注品を標準生産」し、确实短納期で顧客に提供。2015年4月より、受注製作品標準納期を3日から2日に短縮しています。
  - ・また変種変量受注環境下、納期とコストの矛盾の同時解消のため、ミスミQCTモデルの本質である「時間戦略」を迫及しています。
  - ・取り組みの一例としては、半製品を生産する段階では少品種を大量に作りこんで大ロット生産の利益を追求する一方で、最終仕上げの段階では時間勝負の一個流して小ロット・短納期・最小在庫に対応しています。
- **流通(VONA)事業: 生産間接資材市場全体にドメインを拡大**
  - ・VONA事業の推進によって、ミスミQCTモデルと親和性の高い製造業にフォーカスしつつ、生産間接資材市場全体(国内市場5.6兆円)にドメインを拡大し、ワンストップで提供できる体制を構築しています。
  - ・非効率・高コストな多段階流通をECモデルで独自変革し、グローバルでのe流通革命により事業拡大を進めています。

### 生産材プラットフォームへの業態変革

- **メーカー事業: 商品領域拡大と生産体制拡大**
  - ・紙、WEBに次ぐ第3のメディアとしてCAD対応を強化し、CADデータの活用によって商品仕様自由度を飛躍的に向上させることで、メーカー事業の強さを活かしながら商品領域の拡大を図っています。
  - ・中国・南通工場、ベトナム第4工場の立ち上げとともに、2012年に買収した米国の大手金型部品メーカーの拠点を組み入れて、世界5極生産体制により、グローバル确实短納期生産体制を拡大しています。
- **流通(VONA)事業: 品揃え強化とグローバル展開**
  - ・VONA事業成長の鍵は品揃え強化に伴う顧客数の増加であり、参画メーカー数及び顧客数共に順調に増加中です。
  - ・グローバル展開に向けたEC基盤整備に注力してきましたが、今後は更なるグローバル化に向けてプロモーション活動等の攻めを加速していきます。
- **事業基盤: グローバル製造業最適化**
  - ・ミスミEC基盤の強みはeカタログ(商品検索/選定)とWEB ORDER SYSTEM(見積/発注)の組み合わせです。
  - ・CAD対応を強化し、商品選定から発注までを劇的に短縮させることができるのは、メーカー事業と流通事業を併せ持つミスミならではの強みであり、更なるEC基盤強化に向けたIT投資を拡大中です。
  - ・成長著しい市場における生産材需要の一気に獲得を目指しグローバル拠点拡充を図っており、成長を加速するベトナム市場を有望市場と位置付けて現法を設立しました。

### 6期連続で過去最高益更新へ

- **売上高、利益で6期連続過去最高更新へ**
  - ・2015年度実績で売上高2,401億円、営業利益256億円、当期利益169億円で、5期連続で売上高、利益ともに過去最高を更新しています。
  - ・2016年度は会社予想で売上高2,535億円(前年比5.6%増)、営業利益272億円(同5.9%増)、当期利益178億円(同5.3%増)と、6期連続で過去最高益の更新を計画しています。下期の想定為替レート(対円)は、1米ドル=103.0円、1ユーロ=115.0円、1人民元=15.5円です。
  - ・リーマンショックの2009年度をボトムに、2016年度までの年平均成長率は16%を超えていますが、特に海外売上が全体をけん引しています。
- **株主還元: 7期連続増配へ**
  - ・配当性向は25%基準としています。
  - ・1株当たり配当金は、2016年度上期7.61円を実施し、通期で16.23円を予定しています。7期連続増配、6期連続過去最高更新を予定しています。